

“Create the future with *n*”



# 2021年3月期第1四半期 決算説明会資料

証券コード 6306

**日工株式会社**

常務取締役 財務本部長

藤井 博

2020年8月20日

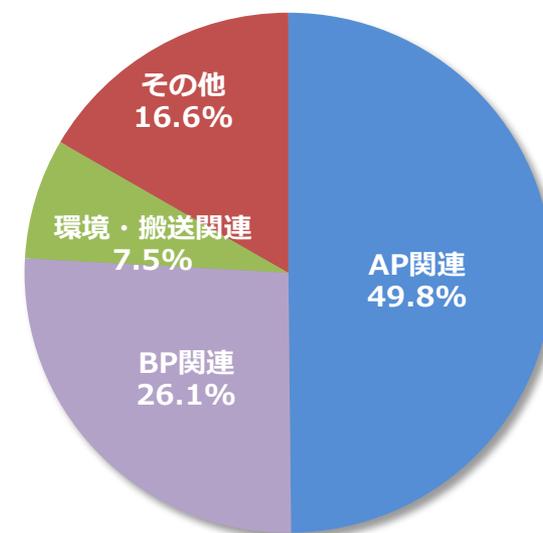
会社情報	▶ P.3-7
株主還元と情報開示	▶ P.8-9
新型コロナウイルスに関する影響について	▶ P.10
トピックス	▶ P.11
2020年度1Q決算説明	▶ P.12-26
参考資料	▶ P.27-31



# 会社情報

会社名	日工株式会社 (Nikko Co., Ltd)	
本社住所	兵庫県明石市大久保町江井ヶ島1013-1	
創立	1919年 (大正8年) 8月13日	
資本金	91億97百万円	(2020年3月末)
連結売上高	351億51百万円	(2020年3月期)
連結営業利益	20億53百万円	(2020年3月期)
海外売上高比率	13.4%	(2020年3月期)
子会社数	9社	(2020年3月期)
連結従業員数	838名	(2020年3月末)
企業統治体制	監査役会設置会社 取締役7名 (うち社外2名) 監査役4名 (うち社外3名) (2020年3月末)	

## 事業別売上構成比率 (2019年度)



※AP=アスファルトプラント  
BP=バッチャープラント(コンクリート)



## 経営理念

日工グループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、お客様に真に満足いただける製品とサービスを提供するとともに、広く社会から信頼され、お客様と共に発展する“ソリューションパートナー”となることを使命に、自己変革してまいります。

取締役社長 **辻 勝**

製品展開	生産拠点展開	海外展開	国内グループ展開 (買収・譲渡含む)
1919 創立 トンボ印の農土木工具	1919 本社工場	1994 独ニッコーバウマーシーネン	1968 市石工業所 (M&A)
1951 コンクリートミキサー ・ウィンチ	1938 産機工場	1997 台湾台北	1971 日工電子工業 (設立)
1956 生コンプラント	1968 東京工場	2001 日工 (上海) 工程機械	1983 日工マシナリー (設立)
1958 アスファルトプラント	1994 幸手工場	2010 山推礎天工程機械	1994 トンボ工業 (設立)
1962 パイプサポート	2004 上海嘉定工場	2020 日エアジア (タイ)	1995 日工セック (設立)
1963 パイプ足場	2014 加古川工場	2020 日エニルコソン (タイ)	2002 新潟鉄工所 (事業譲受)
1966 コンベア・搬送システム	2016 福崎工場		2006 三菱重工業 (事業譲受)
1983 水門			2008 前川工業所 (M&A)
2000 油汚染土壌浄化システム			
2001 廃プラスチック処理システム			
2007 コンクリートポンプ			
2015 破碎機 (輸入販売)			

2019年8月 創立100周年



## 日エグループ経営ビジョン

*n*からはじまる未来創造

アスファルト・バッチャープラントのリーディングカンパニーであり続けます。

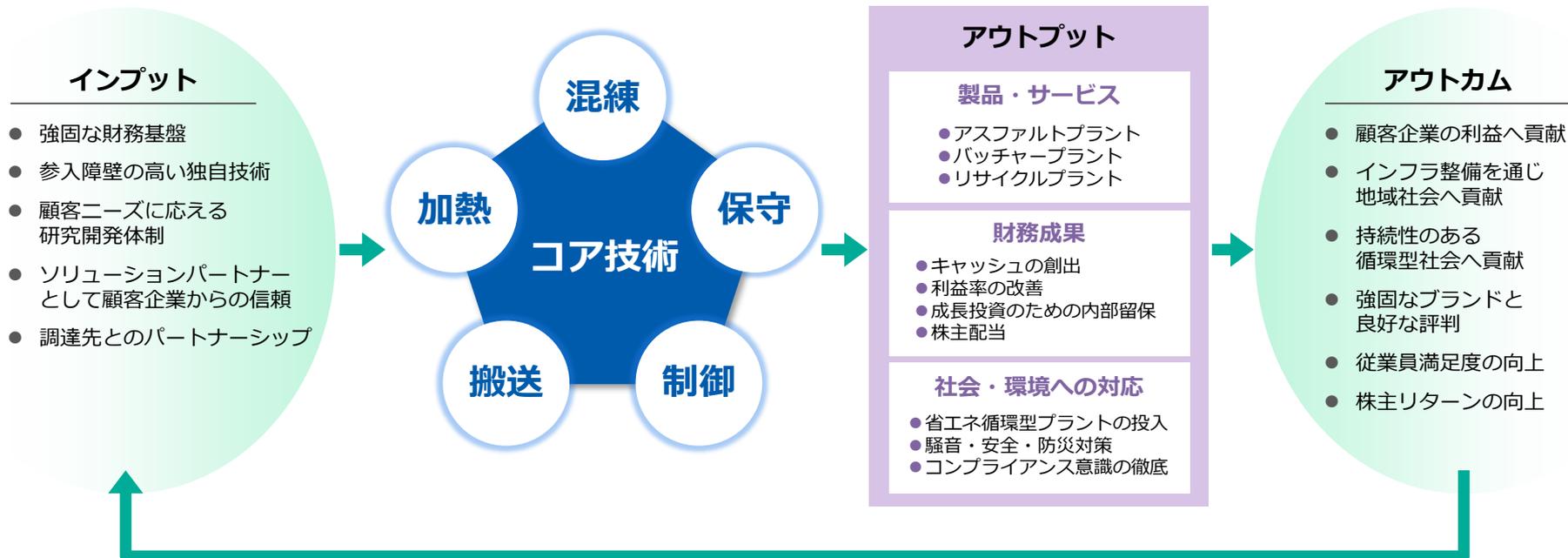
海外事業を拡大しアジアマーケットにおけるNo.1メーカーを目指します。

当社のコア技術「加熱」「混練」「搬送」「制御」をブラッシュアップし事業拡大を行います。

社会貢献できる未来創造企業であり続けます。

代表取締役社長 **辻 勝**

## “街をつくるキカイ”を提供して1世紀。循環型社会の構築に貢献



2020年度予想 売上高 365億円 営業利益率 6.0%

### ▶ ビジネスフロー



## ● 株主還元強化

- 2021年3月期の配当金30円（中間15円、期末15円）  
（配当性向62.6%） 予定
- 自己株式取得  
2020年5月25日～2020年9月30日  
（総数80万株（上限） 金額4億円（上限））  
→総還元性向84.2%予定

## ● 情報開示

- 日エグループ統合レポート2020  
日本語版9月下旬、英語版10月下旬リリース予定

● 「日エグループ統合レポート2020」目次（掲載内容は今後の編集過程で変更されることがあります）

## Contents

目次、編集方針 ..... 01

### ● VISION & INNOVATION

日エグループの企業理念 ..... 02  
 企業理念の推進と浸透 ..... 03  
 沿革 ..... 05  
 数字で見る日エグループ(財務・非財務ハイライト) ..... 07  
 CEOメッセージ ..... 09

### ● SUSTANABILITY & ENGAGEMENT

価値創造プロセス ..... 15  
 サステナビリティの推進 ..... 17  
 気候変動への対応と事業機会 ..... 21  
 顧客への価値提供基盤 ..... 23  
 人財力強化と生産性向上 ..... 27  
 女性従業員が考える日エの多様性(女性従業員座談会) ..... 29

### ● STRATEGY

中期経営計画と注力分野の進捗 ..... 31  
 セグメントハイライト ..... 35  
 事業戦略  
 └ アスファルトプラント関連事業 ..... 37  
 └ コンクリートプラント関連事業 ..... 38  
 └ 環境及び搬送関連事業 ..... 39  
 └ その他事業 ..... 40  
 CFOメッセージ ..... 41

### ● LEADERSHIP & GOVERNANCE

コーポレートガバナンス ..... 45  
 監査役が語る日エのガバナンス(監査役座談会) ..... 49  
 役員紹介 ..... 51

### ● DATA & HIGHLIGHT

2019年度の事業概況と2020年度の見通し ..... 53  
 過去10年間の財務指標 ..... 55  
 財務データ ..... 57  
 株式・株価情報 ..... 60  
 会社概要と拠点一覧 ..... 61  
 子会社要覧 ..... 62

**ESG視点の統合レポートへ  
 拡充予定**

## 1Q決算への影響

(国内)

- ・受注・・・国内受注活動にほぼ影響なく堅調に推移
- ・売上・・・ほぼ当初計画どおりに進捗

(海外)

- ・日工上海：1月31日の休業開始から3月25日に通常稼働に戻ったものの  
若干の生産遅れ  
1Q予定物件 4物件、5.8億円が2Q以降へ納入、売上ズレ
- ・輸出：売上前年対比▲91%（19年度1Q 1.8億円→20年度1Q 0.16億円）
- ・Nikko Asia (Thailand)Co., Ltd.  
：社長をはじめ、日本人社員が現地入国できず本格稼働に遅れ



## 通期決算への影響予想

- ・上海・・・通期では予想に変更なし
- ・輸出及び、Nikko Asia (Thailand)Co., Ltdともに先行き見通せないが、  
輸出は昨年度の全体売上に占める割合が2.1%、タイは今年度6.2億円の売上予算と少額  
国内事業は現状影響なく、通期予想は変更なし

★ユーザーのリスク回避強化もあり、リモートメンテナンスの加入率が67%に急増（2020年1月；46%）  
中計戦略であるビフォアメンテナンスの転換へ向けて、更なる加入率向上を目指す

2020年2月にアスファルトプラントの販売及びサービスメンテナンスを目的とする Nikko Asia(Thailand)Co., Ltd.を設立したことに続き、20年6月にタイに製造会社を設立

目的 製品の現地製造を行うことによりコストの削減及びリードタイムの短縮を図ることでお客様ニーズにより一層応え、中国上海工場と合わせアジア全体において競争優位性を高める

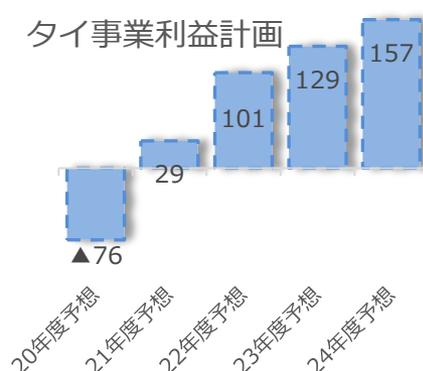
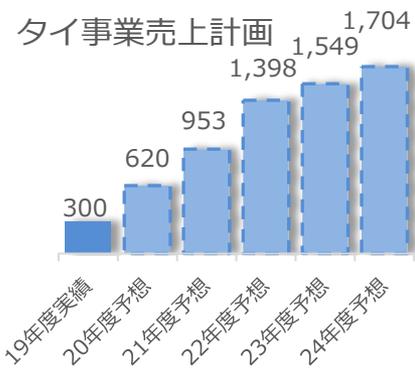
## 会社概要

設立年月日 2020年6月25日  
 名称 Nikko NilKhosol Co.,Ltd.  
 資本金 120百万 THB  
 設立拠点 タイ王国 チョンブリ ピントン4 工業団地内  
 事業内容 アスファルトプラント及び産業機械の製造及び販売  
 出資比率 当社 70%、NilKhosol 30%



## 工場概要

敷地面積 40,542㎡  
 工場面積 5,078㎡  
 投資総額 約350百万THB (約12億円)  
 生産能力 アスファルトプラント30台/年 及び 産業機械900ton/年  
 着工予定 2020年9月  
 稼働予定 2021年10月



※19年度実績は輸出



# 2020年度1Q決算説明

## 2020年3月期 1Q実績

(単位：百万円)

第1四半期（4-6月）	実績	対前年同期	対前年増減率
売上高	7,271	▲730	▲9.1%
営業利益	408	+132	+47.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	746	+476	+176.3%

- ▶ AP事業売上：国内製品販売増となるものの、海外減により対前年同期比+1.9%
- ▶ BP事業売上：国内製品販売減、メンテナンスは微減
- ▶ 受注高は、AP、BPともに増

## 事業環境

### AP事業

20年度1Q（4-6月）	実績（万トン）	対前年同期比
合材製造量	815	103.1%
新規合材	220	106.9%
再生合材	595	101.7%

再生合材比率	73.0%
--------	-------

資料出所：（一社）日本アスファルト合材協会

### BP事業

20年度1Q	実績（万m <sup>3</sup> ）	対前年同期比
生コンクリート出荷量	1,882	93.5%

資料出所：全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会



- ・ 営業利益・営業利益率・四半期純利益ともに前年同期比大幅増  
→ P.15 業績ハイライト (1)



- ・ 受注高・受注残高ともに前年同期比増  
(全事業部門、前年同期比増)  
→ P.15 業績ハイライト (1)  
P.29 事業別受注高と受注残高の推移



- ・ 売上高、対前年同期比▲9.1%  
(BP事業、日工上海の売上高減少による(但しBPは計画通りの進捗))  
→ P.15~16 業績ハイライト (1) (2)  
P.19 AP関連事業 (内訳推移)  
P.20 BP関連事業



- ・ 新型コロナウイルスの影響により海外事業大幅減少  
→ P.10 新型コロナウイルスに関する影響について  
P.19 AP関連事業 (内訳推移)

**1Qは、新型コロナウイルスの影響により海外（輸出・上海）での納期遅れなどの影響により売上に影響を与えたものの、利益、受注は順調に推移**

## 対前年同期実績

- ▶ 売上 : 国内AP製品増 (+8.3億円)、BP製品減 (▲9.4億円)、日工上海 (▲5.9億円)、輸出 (▲1.6億円)、その他事業売上増 (+1.2億円)
- ▶ 営業利益 : 製品、メンテナンスの原価率改善により増益
- ▶ 四半期純利益 : 前田道路株の特別配当金 (+3.4億円)、開発補助金 (0.6億円)、有価証券売却益 (0.8億円)
- ▶ 受注 : AP事業 (+16.8億円)、BP事業 (+0.9億円)、環境搬送 (+2.9億円)、その他事業 (+0.8億円)
- ▶ 受注残 : AP事業 (+2.2億円)、BP事業 (+13.7億円)、環境搬送 (+0.3億円)、その他事業 (+0.1億円)

(単位: 百万円)

	2019年度			2020年度				
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	通期予想 進捗率	上期予想	通期予想
売上高	8,001	17,140	35,151	7,271	▲730 ▲9.1%	19.9%	18,500	36,500
営業利益	276	959	2,053	408	+132 +47.9%	18.5%	1,100	2,200
営業利益率	3.4%	5.6%	5.8%	5.6%	+2.2%	—	5.9%	6.0%
経常利益	361	1,034	2,142	979	+617 +170.7%	36.2%	1,550	2,700
親会社株主に帰属する 当期純利益	270	1,003	1,588	746	+476 +176.3%	40.3%	1,050	1,850
受注高	7,320	16,843	33,915	9,469	+2,149 +29.3%	27.0%	17,000	35,000
受注残高	12,773	13,158	12,219	14,417	+1,644 +12.8%	—	10,719	10,719

(単位: 円)

為替レート (EUR)	—	—	121.73	—	—	—	—	118.00
為替レート (RMB)	—	—	15.76	—	—	—	—	15.50

# 2020年度 1Q業績ハイライト (2)

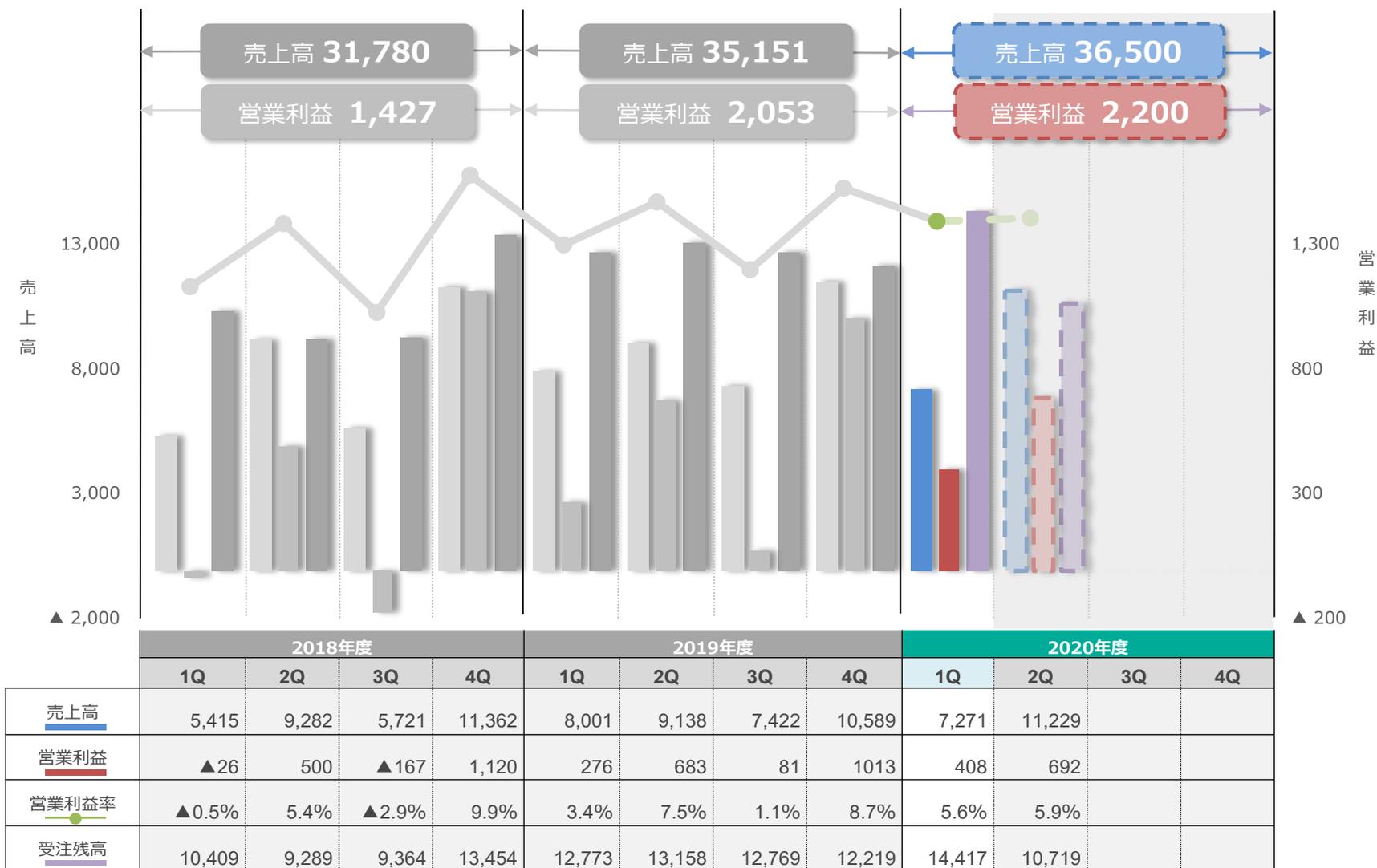
(単位：百万円)

		2019年度			2020年度				
		1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	通期予想 進捗率	上期予想	通期予想
AP関連事業	売上高	3,917	8,667	17,518	3,991	+74 +1.9%	21.6%	9,800	18,400
	営業利益	222	676	1,118	340	+118 +53.1%	29.0%	630	1,170
	営業利益率	5.7%	7.8%	6.4%	8.5%	+2.8%	—	6.4%	6.3%
BP関連事業	売上高	2,442	4,569	9,158	1,478	▲964 ▲39.5%	15.7%	4,800	9,400
	営業利益	110	297	761	88	▲22 ▲20.0%	11.0%	410	800
	営業利益率	4.5%	6.5%	8.3%	6.0%	+1.5%	—	8.5%	8.5%
環境及び搬送 関連事業	売上高	492	1,353	2,634	524	+32 +6.5%	19.4%	1,200	2,700
	営業利益	80	219	562	114	+34 +42.5%	20.0%	260	570
	営業利益率	16.3%	16.2%	21.3%	21.8%	+5.5%	—	21.7%	21.1%
その他事業	売上高	1,149	2,549	5,840	1,275	+126 +11.0%	21.2%	2,700	6,000
	営業利益	175	448	1,020	171	▲4 ▲2.3%	16.1%	500	1,060
	営業利益率	15.2%	17.6%	17.5%	13.4%	▲1.8%	—	18.5%	17.7%
全社費用		▲313	▲683	▲1,409	▲305	+8	21.7%	▲700	▲1,400

- ▶ AP関連事業売上高 : 国内事業売上高、対前年同期比+36.1%
- ▶ BP関連事業売上高 : 対前年同期比▲39.5%
- ▶ 環境及び搬送関連事業売上高 : 対前年同期比+6.5%
- ▶ その他事業売上高 : 対前年同期比+11.0%

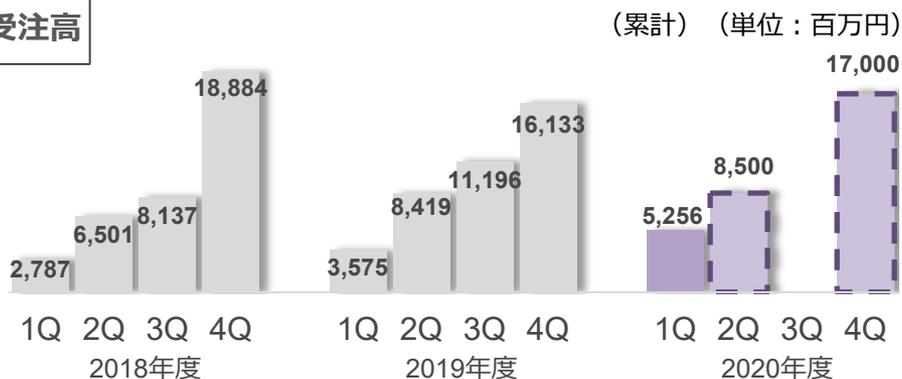
## 四半期別売上高・営業利益推移

(単位：百万円)



※2020年度2Qの予測数字は期初発表の第2四半期（累計）予想から1Q実績を引いたもの

## 受注高

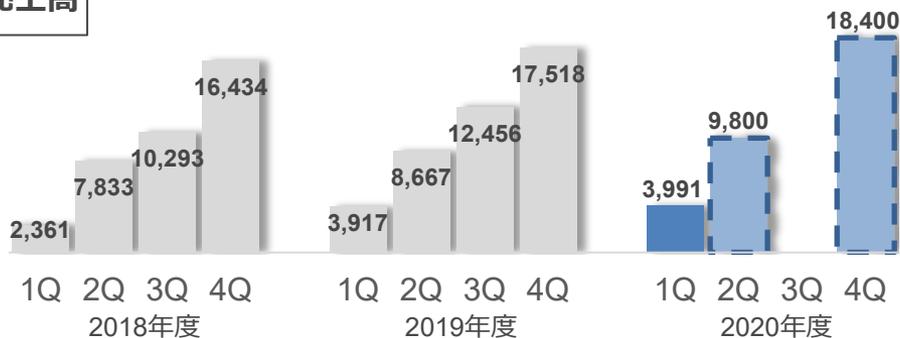


- ▶ 受注高
- ・受注高、前年同期比+47.0%

(要因)

受注ずれ込みによる前期からの持越し  
1台、+688百万円  
その他国内市場が堅調に推移した事による  
予定外案件追加

## 売上高



- ▶ 売上高
- ・国内売上高、対前年同期比+36.1%
- ・海外売上高、対前年同期比▲46.8%

## 営業利益・営業利益率

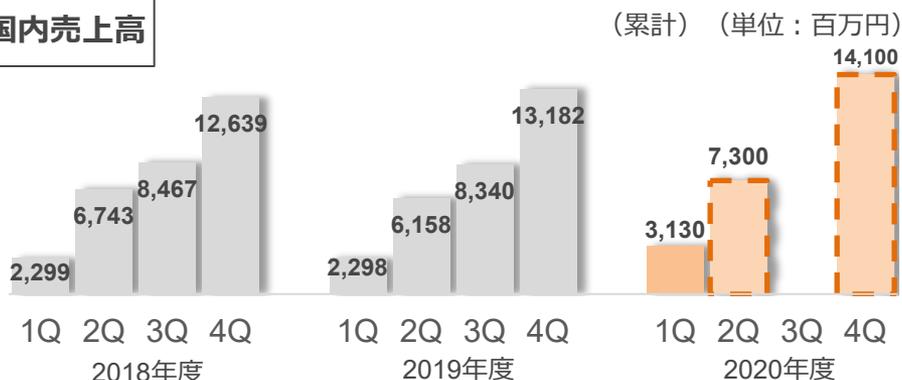


- ▶ 営業利益
- ・営業利益、前年同期比+53.1%
- ・営業利益率、前年同期比+2.7ポイント

(要因)

製品、メンテナンスの原価率改善  
国内市場において、比較的マージンの高いプラント  
製品が多かったため

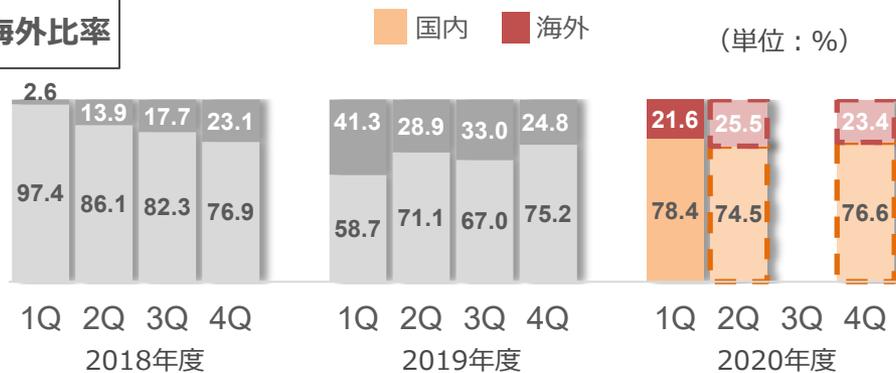
## 国内売上高



## 海外売上高



## 海外比率



### ▶ 国内

- ・プラント製品、対前年同期比+203.3%
- ・メンテナンス、対前年同期比+0.7%

#### (要因)

納期ずれ込みによる前期からの持越し（1物件）  
国内市場が堅調に推移

### ▶ 海外

- ・対前年同期比▲46.8%
  - ・輸出、対前年同期比▲91.0%
  - ・日工上海、対前年同期比▲46.8%

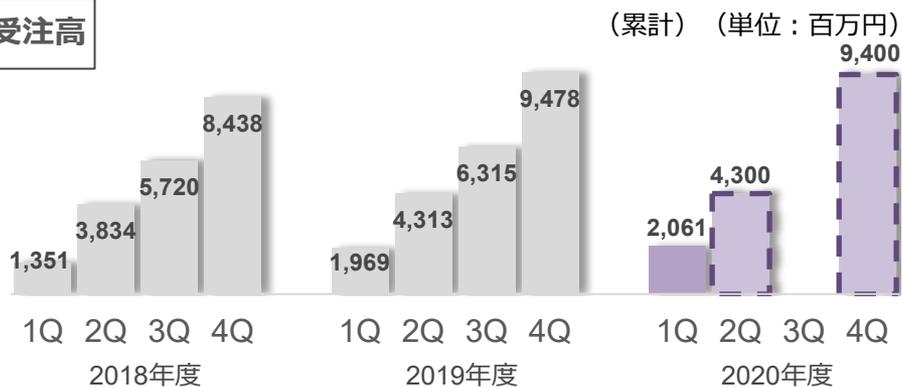
#### ※輸出

1Q新型コロナの影響により、  
営業活動ストップしており、また各国の道路  
予算執行も止まった状態

#### ※日工上海

1Q予定物件、新型コロナの影響により  
2Qへ1物件、3Qへ2物件、納期末定1物件  
売上ズレ

## 受注高



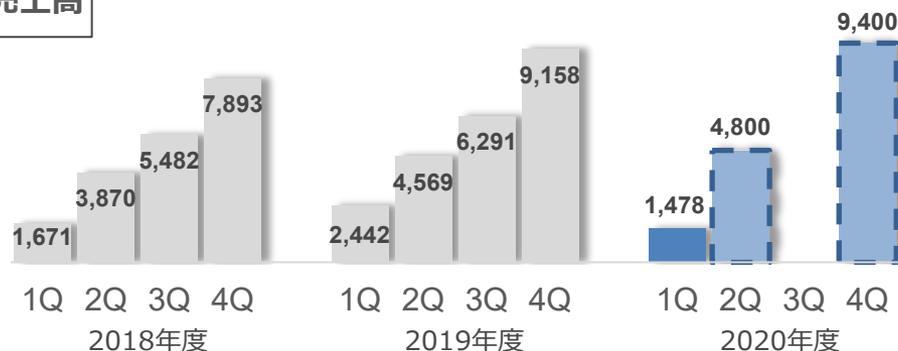
### ▶ 受注高

- ・対前年比、+4.6%

#### (要因)

前期からの期ズレ1物件  
国内市場が堅調に推移したことにより  
予定外案件追加

## 売上高



### ▶ 売上高

- ・プラント製品、対前年同期比▲59.8%
- ・メンテナンス、前年同期比減▲0.5%

#### (要因)

前期注残物件に1Q売上案件が少なかった  
2物件が2Qへズレ

## 営業利益・営業利益率



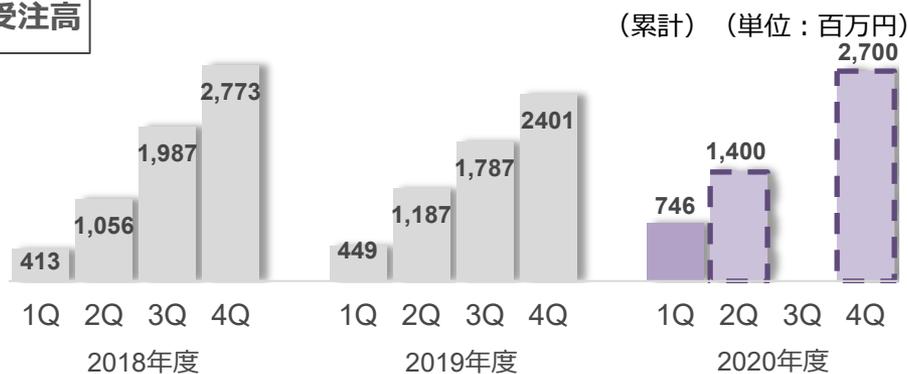
### ▶ 営業利益

- ・営業利益、前年同期比▲20.0%
- ・営業利益率、前年同期比+1.5ポイント

#### (要因)

売上減少による

## 受注高



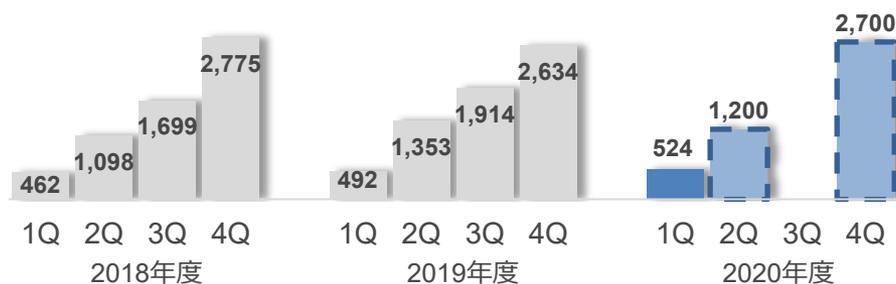
## 受注高

・前年同期比+66.1%

(要因)

- ・特殊コンベヤ 62百万円
- ・環境物件 150百万円受注

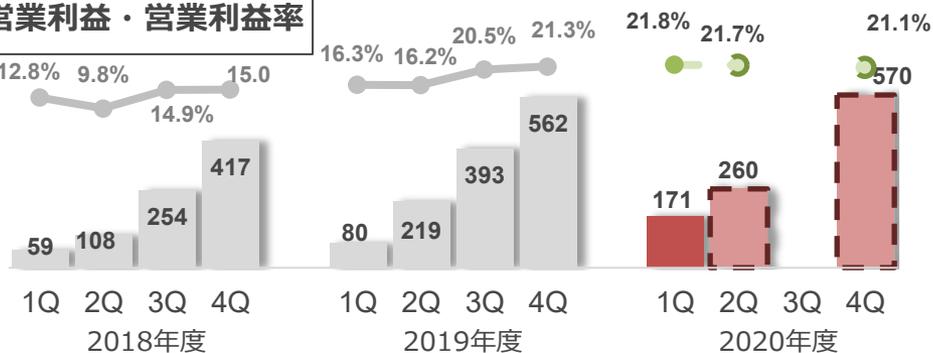
## 売上高



## 売上高

- ・環境製品、対前年同期比▲28.2%
- ・搬送事業、対前年同期比+7.3%

## 営業利益・営業利益率



## 営業利益

- ・営業利益、前年同期比+113.7%
- ・営業利益率、前年同期比+5.5ポイント

## 受注高

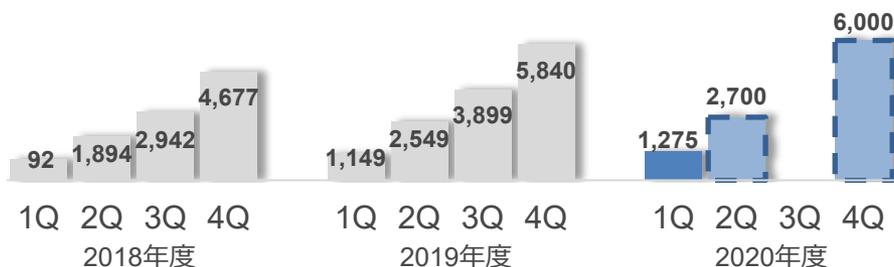
(累計) (単位：百万円)



### ▶ 受注高

- ・セグメント全体対前年比+6.0%

## 売上高



### ▶ 売上高

- ・モバイルプラント製品前年同期実績0→240百万円  
防水板+28.2%、仮設機材+17.2%、  
破碎機▲27.6%、土農工具+3.5%

## 営業利益・営業利益率



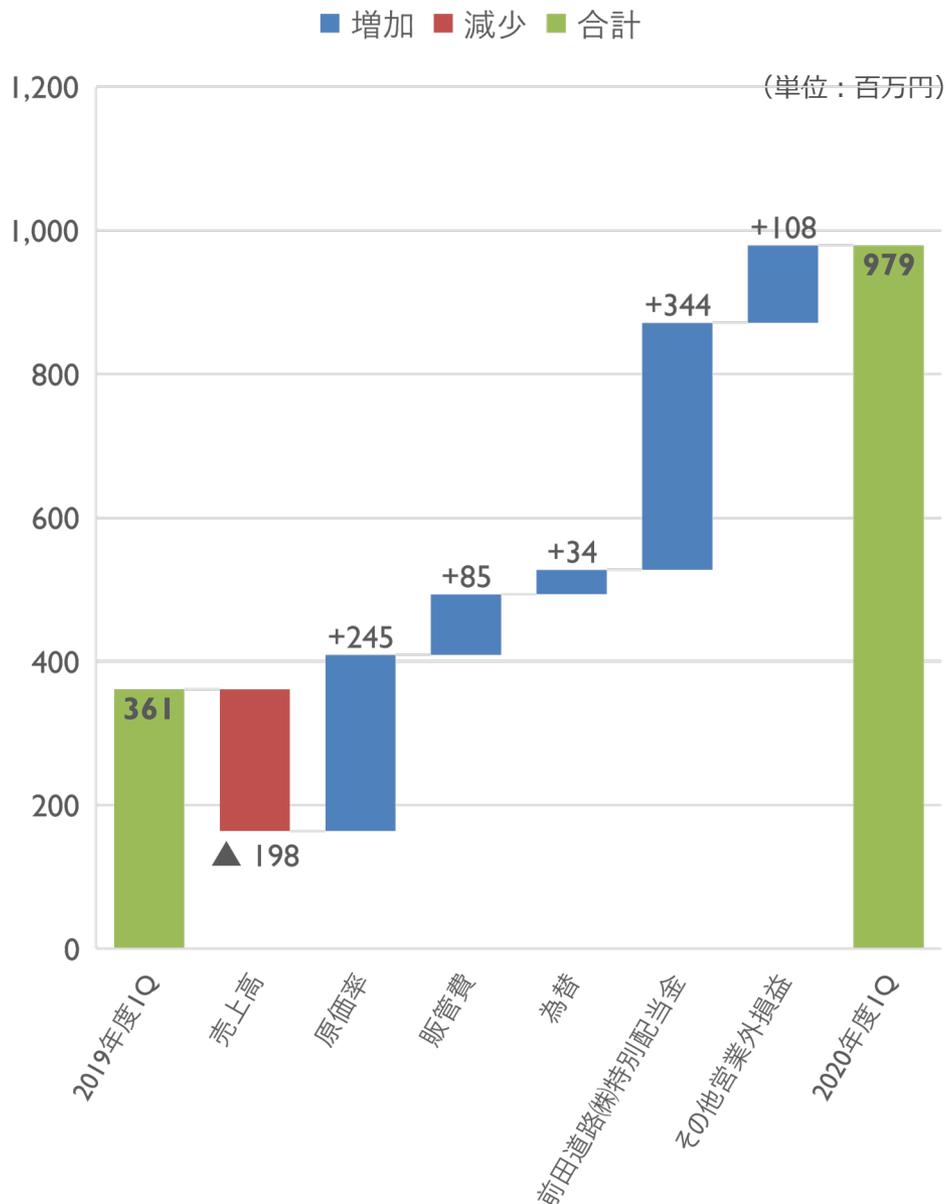
### ▶ 営業利益

- ・破碎機の売上減により減少

### ★その他事業の売上構成 (20年度1Q)

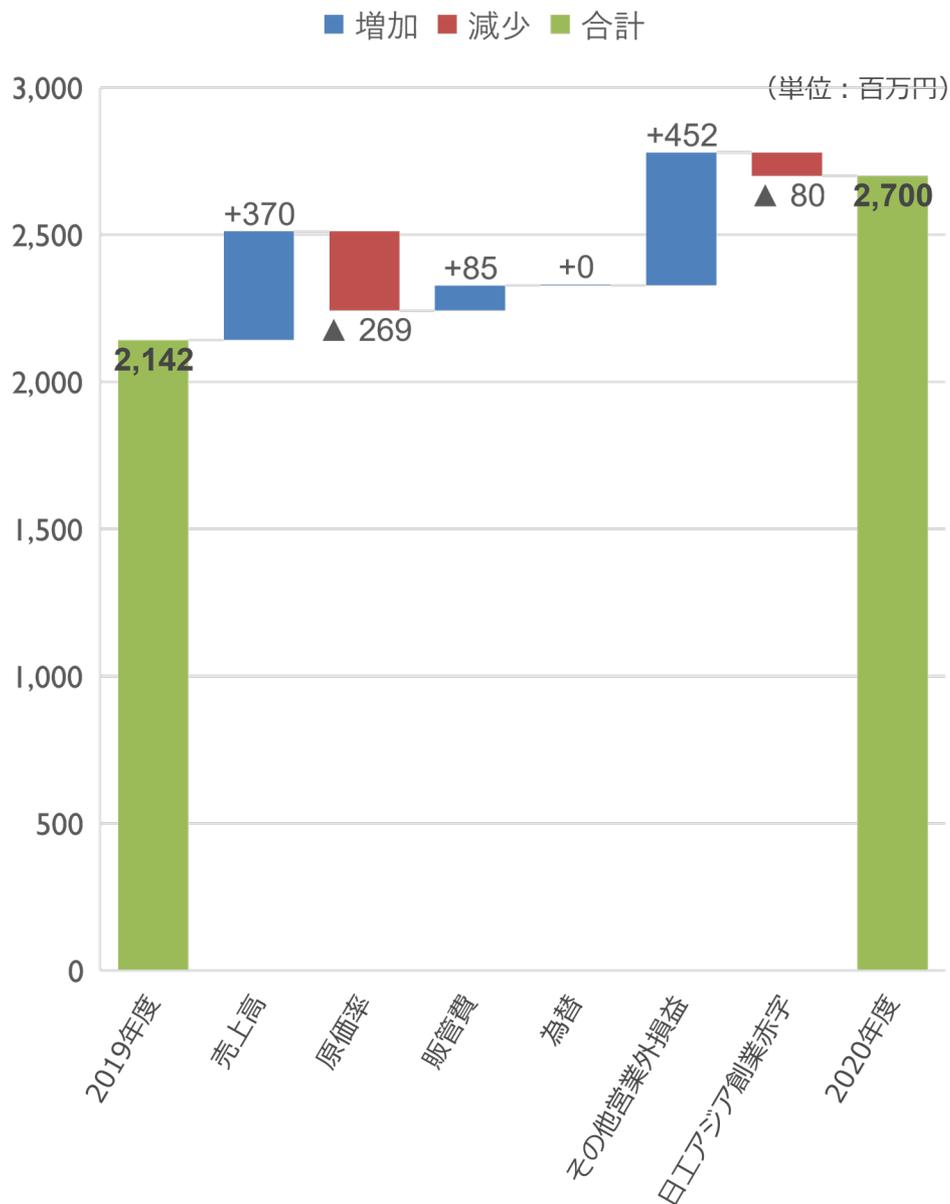
- 仮設機材 29.9%、防水板・水門 15.1%、  
土農工具 12.4%、モバイル18.8%、破碎機 8.3%、  
開発製品 1.8%、他 13.6%

# 2020年度1Q 経常利益 増減要因分析



項目	影響額	内容
売上高	▲198	売上 (▲730百万円)
原価率	+245	原価率の改善 73.0%→69.6%
販管費	+85	日工上海決算 取り込み時期変更による減少
為替	+34	
前田道路(株)特別配当金	+344	
その他営業外	+108	

# 2020年度通期 経常利益 増減要因分析 (予想)



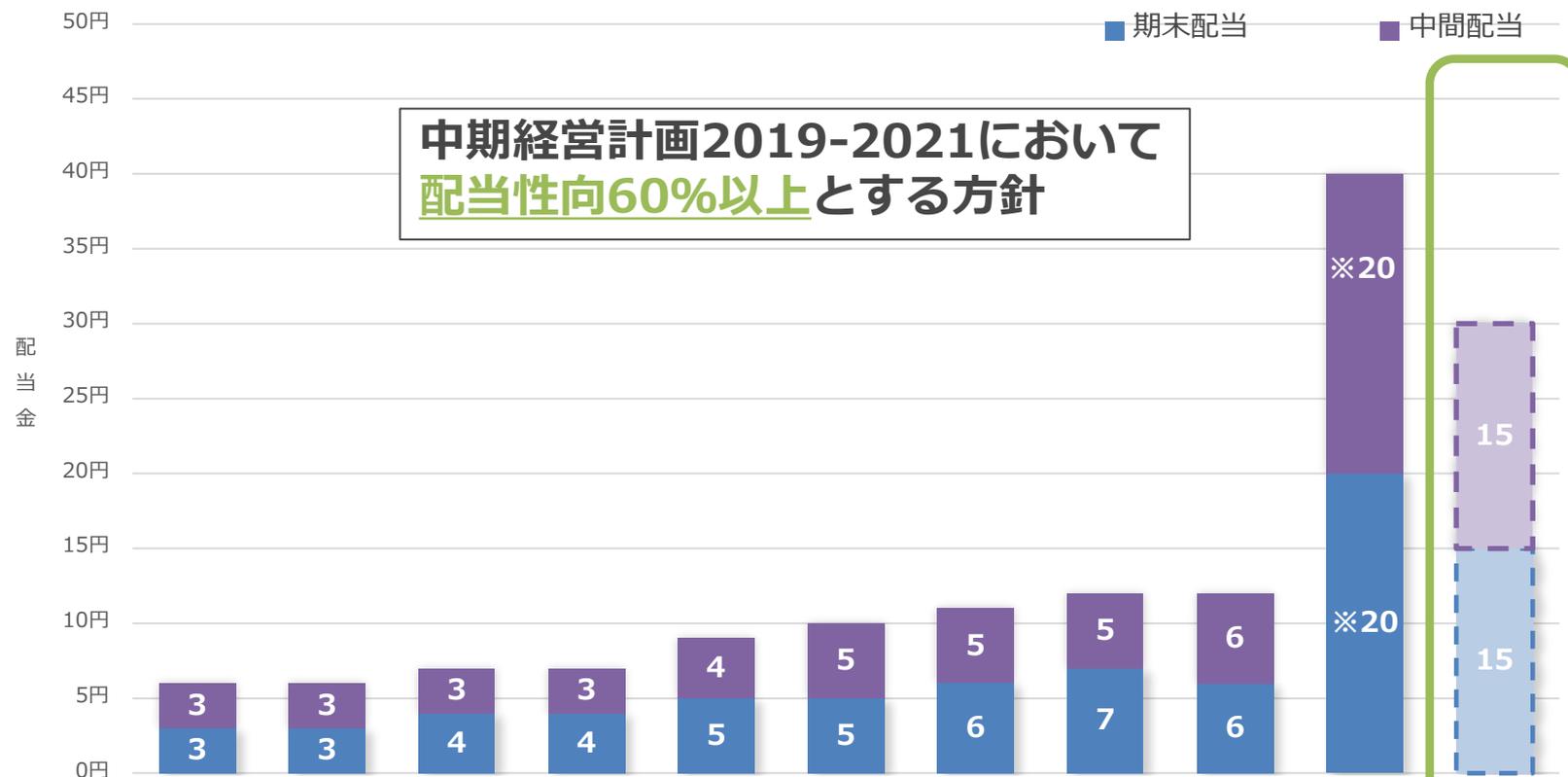
項目	影響額	内容
売上高	+370	売上 +1,349
原価率	▲269	原価率の悪化
販管費	+85	日工上海決算取込時期変更影響剥落
その他営業外(配当金収入)	+452	前田道路特別配当金344百万円
日エアジア(タイランド)創業赤字	▲80	

(単位：百万円)

		2019年度 1Q	2020年度 1Q	増減	増減の主な要因
資産	流動資産	29,678	31,641	+1,962	増加：現金及び預金 +273百万円 電子記録債権 +590百万円 商品及び製品 +1,528百万円 その他 +712百万円 減少：受取手形及び売掛金 ▲767百万円 仕掛品 ▲428百万円
	有形固定資産	6,620	7,739	+1,118	増加：建物及び構築物 +359百万円 機械装置及び運搬具 +333百万円 土地 +353百万円 繰延税金資産 +306百万円
	無形固定資産	406	427	+20	減少：投資有価証券 ▲1,133百万円
	投資その他	7,392	6,676	▲716	
総資産合計		44,099	46,484	+2,385	

負債	流動負債	11,200	13,192	+1,992	増加：電子記録債務 +204百万円 ファクタリング未払金 +943百万円 短期借入金 +236百万円 未払法人税等 +141百万円 受注損失引当金 +102百万円 長期借入金 +159百万円 減少：支払手形及び買掛金 ▲335百万円
	固定負債	2,686	2,960	+274	
純資産合計		30,211	30,332	▲120	増加：資本剰余金 +109百万円 利益剰余金 +514百万円 減少：その他有価証券評価差額金 ▲533百万円
1株当たり純資産 (円 銭)		788.47	785.23	▲3.24	

※当社は、2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しております。  
 1株当たり純資産は、2018年度連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。



	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020年度 予想
自社株買い	1	4	9	1	2	1	1,006	246	—	—	400
自社株消却	0	0	0	0	0	0	0	752	—	—	—
総還元性向	54.4%	208.2%	34.2%	33.0%	28.0%	22.1%	106.9%	47.3%	34.1%	97.6%	84.2%

※2019年度の配当予想には、中間配当10円、期末配当10円の年間20円の100周年記念配当を含みます

★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています

# 参考資料

# 売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

(単位：百万円)

	18年度				19年度				20年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	5,415	9,282	5,721	11,362	8,001	9,139	7,422	10,589	7,271			
AP関連事業	2,361	5,472	2,460	6,140	3,917	4,750	3,789	5,062	3,991			
BP関連事業	1,671	2,199	1,612	2,410	2,442	2,127	1,722	2,867	1,478			
環境及び搬送関連事業	462	636	601	1,075	492	861	561	720	524			
その他事業	921	973	1,048	1,734	1,149	1,400	1,350	1,941	1,275			
営業利益	▲ 26	500	▲ 167	1,120	276	683	81	1,013	408			
AP関連事業	42	373	▲ 132	680	222	454	▲ 53	495	340			
BP関連事業	66	292	23	285	110	187	89	375	88			
環境及び搬送関連事業	59	49	146	163	80	139	174	169	114			
その他事業	21	72	115	294	175	273	196	376	171			
全社費用	▲ 216	▲ 286	▲ 318	▲ 302	▲ 313	▲ 370	▲ 322	-404	▲ 305			
経常利益	87	508	▲ 142	1,123	361	673	129	979	979			
親会社株主に帰属する当期純利益	130	434	▲ 2	783	270	733	▲ 33	618	746			

営業CF	▲ 218				3,839				—			
投資CF	▲ 1,021				▲ 639				—			
配当金総額	267	—	229	—	229	—	775	—	775	—	—	—
自社株取得額	0				0				0			

# 事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）

(単位：百万円)

受注高（累計）	18年度				19年度				20年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	2,787	6,501	8,137	18,884	3,575	8,419	11,196	16,133	5,256			
BP関連事業	1,351	3,834	5,720	8,438	1,969	4,313	6,315	9,478	2,061			
環境及び搬送関連事業	413	1,056	1,987	2,773	449	1,187	1,787	2,401	746			
その他	1,140	2,461	3,805	5,007	1,325	2,923	4,578	5,902	1,405			
合計	5,693	13,854	19,650	35,103	7,320	16,843	23,877	33,915	9,469			

期末受注残高	18年度				19年度				20年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	6,784	5,027	4,203	8,808	8,466	8,561	7,548	7,423	8,688			
BP関連事業	2,575	2,858	3,132	3,439	2,967	3,184	3,464	3,760	4,342			
環境及び搬送関連事業	338	345	675	385	342	219	258	152	373			
その他	710	1,058	1,352	820	997	1,194	1,498	883	1,013			
合計	10,409	9,289	9,364	13,454	12,773	13,158	12,769	12,219	14,417			

(単位：百万円)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 予想
設備投資	292	335	844	815	877	1,261	550	1,889	1,483	1,800
減価償却費	432	389	395	422	487	482	472	508	611	700
研究開発費	239	256	295	276	227	271	291	211	379	350

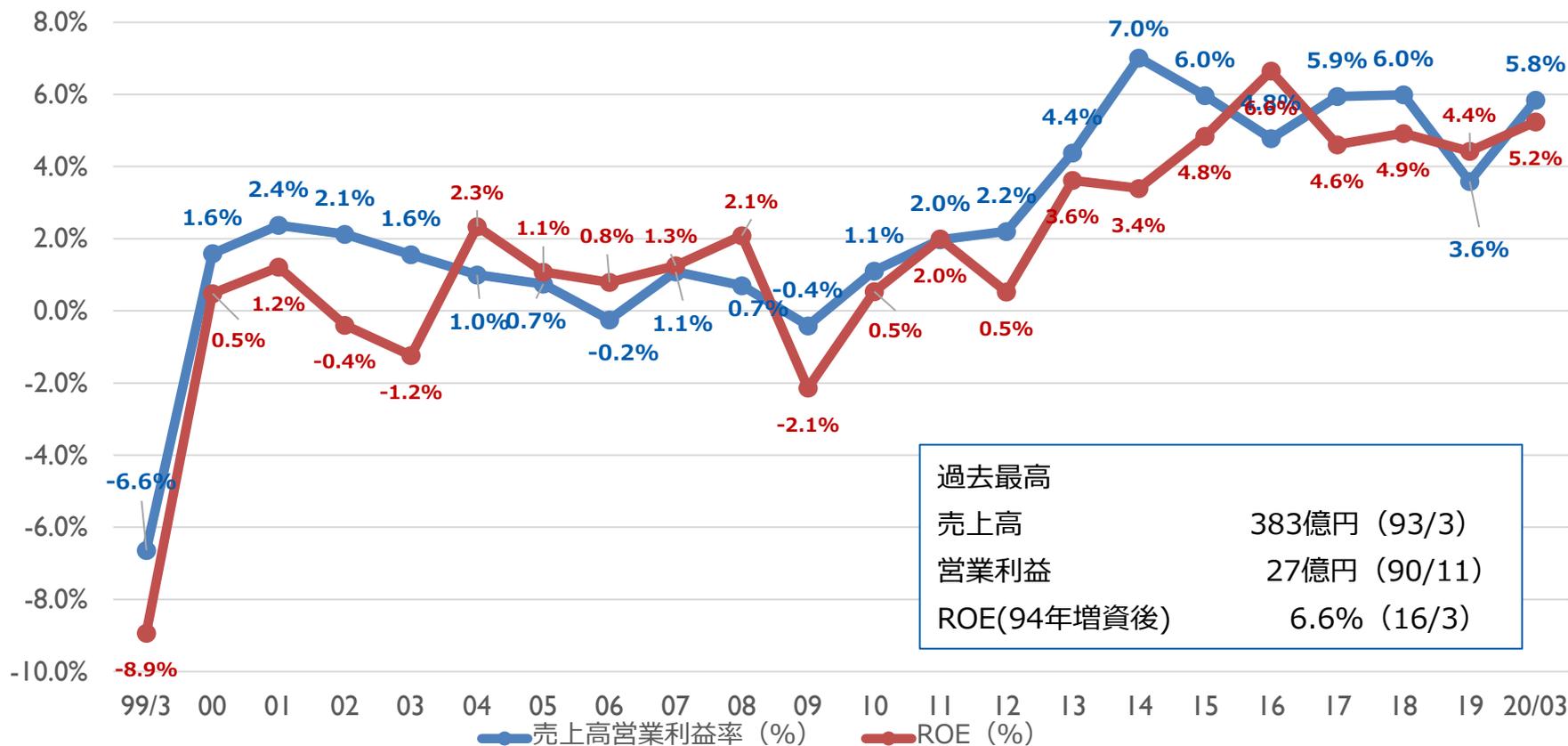
(単位：人、歳、年)

連結従業員数	775	763	767	796	803	797	807	799	838
従業員平均年齢(単体)	44.2	44.7	43.3	43.1	42.2	42.3	42.2	40.9	41.1
平均勤続年数(単体)	21.5	21.2	20	19.3	18.2	18.5	18.3	16.0	15.8
女性社員数(単体)	28	31	31	33	39	42	42	45	51
新卒採用者数(単体)	13	15	21	21	30	17	19	15	14
新卒女性社員採用数(単体)	1	0	1	3	1	2	0	0	0
女性社員採用割合(単体)	7.6%	0%	4.7%	14.2%	3.3%	11.7%	0%	0%	0%
外国人採用数(単体)	1	0	6	0	0	0	1	1	0
外国人従業員数(単体)	2	2	8	6	6	6	7	8	5
外国人従業員(連結)	92	90	91	95	94	93	101	98	116
海外従業員数(連結)	92	90	91	95	92	91	101	98	123

## 環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
新製品名	【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】	【NTB- II バーナ】	【新型バグフィルタ】	【VPシリーズAP】	—	【フォームDAS製造装置】
環境負荷軽減項目	・プラント生産効率UP ・省エネルギー	・省エネルギー ・燃焼領域での 燃焼効率UP	・省スペース ・省エネルギー ・排ガス量低減 ・低騒音	・再生材の 臭気ガス拡散防止	—	・中温化合材の製造対応

## 営業利益率・ROE



過去最高  
 売上高 383億円 (93/3)  
 営業利益 27億円 (90/11)  
 ROE(94年増資後) 6.6% (16/3)

(単位: 百万円)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20/3
売上高	22,157	22,595	23,170	24,307	24,812	24,864	22,175	25,035	26,942	23,856	23,971	23,803	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114	31,780	35,151
営業利益 (損失)	352	536	492	379	248	185	▲ 55	271	189	▲ 98	265	470	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,944	2,103	1,427	2,053
経常利益	201	846	664	688	492	537	350	699	545	482	899	812	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,239	1,576	2,142
当期純利益 (損失)	121	298	▲ 93	▲ 284	567	265	203	315	513	▲ 499	124	461	122	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	1,588



*n*からはじまる未来創造

**ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください**

(オンラインミーティング、東京でのミーティングも可能です)

**TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp**

**日工株式会社 財務本部 八軒（はちけん）宛**

- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
- 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみに依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
- また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。